

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

## 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス 2011年3月期 第2四半期連結決算のお知らせ

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：和田 洋一、以下当社）は、本日、第2四半期の決算発表を行いましたのでお知らせいたします。

### 財務ハイライト

	■ 第2四半期連結累計期間（4月1日～9月30日）		前年比
	2011年3月期 第2四半期累計	2010年3月期 第2四半期累計	
売上高	68,056	90,561	△25%
営業利益	5,712	13,091	△56%
経常利益	3,520	12,181	△71%
純利益	1,723	2,683	△36%
1株当たり純利益	14.98円	23.32円	△36%

  

	■ ご参考：通期（4月1日～3月31日）		前年比
	2011年3月期計画	2010年3月期	
売上高	160,000	192,257	△17%
営業利益	20,000	28,235	△29%
経常利益	20,000	27,822	△28%
純利益	12,000	9,509	+26%
1株当たり純利益	104.28円	82.65円	+26%

詳細な情報は、本日開示の四半期決算短信（<http://www.square-enix.com/11q2tanshin.pdf>）をご参照下さい。  
ご参考：スクウェア・エニックス IRページ <http://www.square-enix.com/jpn/ir/>

当社の代表取締役社長である和田洋一は、次のように述べています。

「当上期の連結業績は、売上高は、厳しい市場環境を背景に家庭用ゲームソフトの新作の販売が伸び悩んだことを要因として、予想を下回る実績になりました。営業利益は、前期の3月に発売した大型タイトルの高収益率のレポート販売が好調に販売を伸ばしたことに加え、出版事業も好調に推移したことを要因として、予想を上回る実績となりました。

また、シャンダゲームズ社とのオンラインゲーム分野における戦略的な提携に合意し、今後の中国市場での展開を加速させる等、中長期的な当社グループの成長に向けた取り組みも進展しております。第3四半期以降も、当社グループの戦略的な課題である「グローバル化」、「ネットワーク化」、「自社IPの強化」の3つに注力し、邁進してまいります。」

以上

<ご参考>

## 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスについて

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスは、多彩なコンテンツ／サービス事業を展開しているスクウェア・エニックス・グループを統括する純粋持株会社です。当社グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイドスなどの国際的ブランドのもと上質なエンターテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作「ドラゴンクエスト」シリーズはこれまでに5,400万本以上、「ファイナルファンタジー」シリーズは9,700万本以上、「トゥームレイダー」は3,500万本以上の世界出荷を記録しています。

(<http://www.square-enix.com/>)

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国における株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスの商標または登録商標です。※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。